

日本において企業パフォーマンスはどのように賃金に反映されるのか?ⁱ

大阪大学大学院経済学研究科博士後期課程

今井健太郎

要旨

日本において企業パフォーマンスが賃金の伸びに対しどのような影響を与えたか、製造業・卸小売業・建設業に限り、TSR 企業単体情報ファイルのデータセットを利用して実証分析を行った。結果生産性の上昇(下落)が労働時間当り名目賃金伸び率を上昇(下落)させることがわかった。また稼働済み資本ストック伸び率は製造業の労働時間当り名目賃金伸び率にマイナスに、卸小売業と建設業ではプラスの影響を与えていることがわかった。さらに意外なことに卸小売業では CPI の下落が労働時間当り名目賃金の伸び率を高めていることがわかった。さらに売上高営業利益率はどの場合においても労働時間あたり名目賃金に伸び率に有意な影響を与えていなかった。

ⁱ 本論文の作成に際し、小川一夫大阪大学社会経済研究所教授に有益なアドバイスを頂きました。記して感謝申し上げます。尚あり得るべき誤りは全て筆者に帰します。